

## Vol.617 節分は窒息・誤嚥に注意! 硬い豆やナッツ類は5歳以下の子どもには食べさせないで!



2月3日は節分です。節分の豆まきで用いられることの多い煎り大豆など、硬い豆やナッツ類は、子どもにとっては窒息や誤嚥のリスクがあることをご存知でしょうか。

消費者庁・国民生活センターには、豆やナッツ類での窒息や誤嚥(ごえん)(食べ物又は異物が気管に入ること)による事故の情報が医療機関(※1)より寄せられています。

- 「乾燥豆3個を食べた時にせき込み、5分後にかみ砕いた豆とともに血を吐き出した。病院を受診し、検査では明らかな症状と所見は認められず、誤嚥の疑いと診断された。」(2歳)
- 「上の子が食べていた枝豆を欲しがり、5~6粒を頬張ったところ、激しくせき込み始めたため救急受診した。気管支異物の存在を疑いCT撮影したところ、左気管支に異物を認めた。集中治療室にて全身麻酔下で枝豆1/2粒を除去した。約1週間後に退院となった。」(1歳)
- 「ピーナッツ味噌を4~5粒食べ接種後むせこみゼイゼイ音がしていた。緊急気管支鏡下気道異物除去術を行い5日間入院。」(4歳)
- 「アーモンドを子どもに食べさせていた。口内に残したまま歩行中、もっと欲しがって泣いたところ、むせて咳き込んだ。その後もゼイゼイした感じがかり受診した。右気管支異物により入院6日間。」(2歳)

奥歯が生えそろわず、かみ砕く力や飲み込む力が十分ではない子どもは、硬くてかみ砕く必要のある豆やナッツ類などを、のどや気管に詰まらせて窒息したり、小さなかけらが気管に入り込んで肺炎や気管支炎を起こしたりするリスクがあります。また、物を口に入れたままで、走ったり、笑ったり、泣いたり、声を出したりすると、不意に吸い込んでしまい、窒息・誤嚥(ごえん)(食べ物又は異物が気管に入ること)するリスクがあります。

- 硬くてかみ砕く必要のある豆やナッツ類は、5歳以下の子どもには食べさせないでください。
- 節分の豆まきは個包装されたものを使用するなど工夫して行い、5歳以下の子どもが拾って口に入れないように、後片付けを徹底しましょう。
- 兄弟がいる家庭では、兄弟が豆やナッツ類を食べている際、5歳以下の子どもが欲しがっても与えないようにしましょう。
- 食べているときは、姿勢をよくし、食べることに集中させましょう。泣いている時に食べ物を与えるのもやめましょう。

窒息や誤嚥は、豆やナッツ以外にも、様々な食品で起こります。丸くてつるつとしたもの、粘着性が高く飲み込みづらいもの、かみ切りにくいものなどは、特に注意が必要です(※2)。

- 「外食後におまけでもらった約1cmの丸い飴を子どもに食べさせた。子どもが歩きながら飴を食べていると急にむせ出したため、保護者が背部叩打法等を行ったところ、唾液を吐き出した後に飴が出てきた。」(1歳)
- 「白米と海苔を食べていた時に、口に入れすぎてむせて苦しんでいた。5分ほど寝たが、苦しそうだったため病院を受診。白米と海苔が鼻の奥に残っている状態だった。」(1歳)

節分に恵方巻を食べる家庭もあると思いますが、海苔もかみ切りにくい食品の一つです(※2、3)。また、具材の中には、普段食べ慣れていないものも入っていることも考えられます。小さな子どもが口に詰め込む状況にならないように、小さく切り分け、飲み物も用意した上で、落ち着いてよくかんで食べられるように工夫しましょう。ご家庭以外の外食、地域や施設のイベント等でも同じように注意してください。

もしも、のどに詰まって窒息してしまった場合は、「背部叩打法」など速やかに応急処置をしてください。

#### ▶ もしもの時の「応急手当方法」

(※1)消費者庁は(独)国民生活センターと共同で、平成22年12月より、医療機関(令和5年1月現在で30機関が参画)から事故情報の提供を受けています(医療機関ネットワーク事業)

(※2)日本小児科学会 ～食品による窒息 子どもを守るためにできること～

(※3)東京都暮らしWEB 節分の時期には子供の誤飲等に注意しましょう!

(参考)

☐ 消費者庁YouTube「食品による子どもの窒息・誤嚥事故:安全啓発動画」

▶ 消費者庁「食品による子どもの窒息・誤嚥事故に注意!」

過去の関連メール

- ▶ Vol.580 硬い豆やナッツ類は5歳以下の子どもには食べさせないで!
- ▶ Vol.569 パン等による子どもの窒息や誤嚥(ごえん)に気を付けましょう!